

子育て応援プロジェクト

赤ちゃんの駅新設と食育スタジオ移設工事

一般社団法人 食育スタジオDreamy

団体概要

設立 2018年12月15日

理念 ひとりひとりに寄り添い出逢った人すべてが笑顔になる会社

活動内容 食育基本法に基づいた、食育推進活動の実施／授乳・離乳支援ガイドに基づいた栄養指導／子どもの食の困りごとに関する相談
栄養士による離乳食・幼児食教室の実施／子どもが食のプロセスに関わる体験学習の実施／子どもや保護者のための料理教室
の実施／専門家による食に関する知識や情報の提供／講演会やイベントによる食教育の普及及び啓発／子育て全般に関する相
談／子育てをしている保護者のからだや心のケアの実施／子育てをする保護者同士の地域の交流場所の提供／保護者及び親子
で楽しめるワークショップの実施／本事業実施のためのスタッフの育成及び研修

所在地 沼津市大岡

ホームページ <https://r.goope.jp/dreamy>

目的・背景

社会変化に伴い核家族化が進み、親族と離れて出産・育児をする家族も多く、家庭のみでの孤独な子育てを防ぐため、地域ぐるみで様々な関係機関や専門家が連携し、子育て支援をする体制の整備が必要とされている。

この支援体制の整備にあたり、国では平成26年度に妊娠・出産包括支援モデル事業をもとに、平成27年度からは妊娠・出産包括支援事業として本格的に実施されているところであり、平成29年8月には厚生労働省が「産前・産後サポート事業ガイドライン」を公表し、利用者目線に立った一貫性・整合性のある支援のありかたが示された。

当団体は、平成29年度より離乳食や幼児食の栄養相談に取り組んできた。離乳食のスタジオレッスンは特にニーズが高く、個別に相談にのり具体的な指導ができることで、保護者の不安や悩みを取り除くことができた。またホームページを開設したことで、随時ホームページから気軽に栄養相談を受ける体制が整い、より多くの方に利用してもらうことができています。小さな悩みにも丁寧に答え、子育て中の保護者の食の悩みを解決し、不安を軽減することができた。

子育ては家庭や地域での日々の暮らしの中で行われるこのであり、子どもだけでなく、親自身も成長する体験が健全が育児へ繋がる。保護者のためのワークショップを開催し、子育ての知識を高め、保護者の地域での交流をはかり、同じ悩みを持つ保護者同士が繋がることや、子育て経験者からのアドバイスにより、育児の悩みを解消できる場所を提供していきたい。

事業継続と、新たに幼児の保護者を対象とする食育講演会を開催することで、市民が「食」に関心を持ち、地震や家庭の健康について考える機会を作り、食生活の改善が期待できる。

専門家が保護者に寄り添ったサービスや助言をすることで、健全な親子関係を築き、子育て世代を地域で真摯に支え、子育てに良好な環境を実現することを目的とする。

実施概要

- ① 「食」の困りごとお助け隊 離乳食・幼児食の栄養相談及びスタジオレッスン
- ② ママのためのワークショップ 子育て中の保護者の知識を高めるためのワークショップ及び親子クッキング講座
- ③ 幼稚園・保育園保護者対象食育講演会の開催

方法・スケジュール

①「食」の困りごとお助け隊

電話・メール・HPからの栄養相談随時対応

地区センター・子育て支援センターでの栄養相談開催 市内15か所

離乳食・幼児食のスタジオレッスン 食育スタジオDreamy

人員配置 栄養士1名/回

②ママのためのワークショップ

10回開催 募集人数 6組/回

人員配置 講師1名 栄養士1名 アシスタント1名/回

③幼稚園・保育園保護者対象食育講演会

人員配置 栄養士/1名



「赤ちゃんクッキング」

開催会場：サンウエルぬまづ調理室

対象者：1歳～3歳のお子様と保護者 参加人数：8組

講師：1名 アシスタント：1名

ぴよぴよキャラバン隊同行栄養相談

開催会場：浮島地区センター／大平地区センター／西浦地区センター／静浦地区センター／愛鷹地区センター／片浜地区センター／門池地区センター／第三地区センター／内浦地区センター

対象者：未就園児

栄養士：1名

「赤ちゃんの駅オープニングイベント」

開催会場：食育スタジオDreamy

対象者：市民

「離乳食レッスン」

開催会場：食育スタジオDreamy

開催回数：4回

対象者：8ヵ月～1歳半のお子様と保護者 参加人数：のべ32組

栄養士：1名

「ママのためのワークショップ」

開催会場：食育スタジオDreamy

開催回数：8回開催

対象者：1歳～3歳のお子様と保護者 参加人数：のべ51組

講師：1名 アシスタント：1名

「ママのためのワークショップ」

開催会場：食育スタジオDreamy

対象者：1歳～3歳のお子様と保護者 参加人数：6組

講師：1名 託児スタッフ：6名

「ママのためのリフレッシュ講座」

開催会場：駿河の湯

対象者：1歳未満のお子様と保護者

講師：1名 保健師：1名 栄養士：1名 託児スタッフ：7名

「幼児食レッスン」

会場：食育スタジオDream

対象者：1歳～3歳のお子様と保護者 参加人数：8組

栄養士：1名

電話による栄養相談（3件）

メールによる栄養相談（初回18件）

栄養士：1名

スタッフミーティング

開催会場：食育スタジオDreamy

スタッフ：8名

考察・事業効果

- ワークショップの開催や赤ちゃんの駅のオープンにより、これまでの事業で繋がった親子に対し、子育て応援を継続することができた。
- 親子で参加できる講座を数多く開催することで、参加同士の交流が広がり、子育ての悩みを解決したり、楽しみの時間をつくることができた。
- ワークショップでは、保護者が子育ての役に立つ内容で開催し、託児を設けたことで子どもと離れ学ぶ時間を持つことができ満足度の高い講座となった。
- HPからの集客でリピーターの親子だけでなく、新規の参加者が増えた。
- 地区センターでの栄養相談では、日頃食の悩みを抱えている保護者に対し、離乳食や幼児食のアドバイスをすることにより、保護者の不安や悩みを解決するとともにワークショップやスタジオレッスンに誘導することができた。
- すべての事業において、スタッフ全員が利用者の気持ちに寄り添い、丁寧に個々への対応をしていくことで、クオリティーの高い子育てサービスを提供することができ、満足度の高い事業内容となった。
- HPからの周知のみで、毎回定員を越す参加希望者が集まり、沼津市において子育て支援事業が必要とされていることを感じた。
- スタジオを移設したことで、親子で居心地のよい場所を提供することができ、利用者同士の交流の場となった。
- カフェのオープンによりランチやスイーツ、ドリンクを提供し、ワークショップの終了後の時間もスタジオ内や赤ちゃんの駅を利用してもらうことができ、親子でゆっくり過ごせる市民の交流の場所となった。



これからの展望（今後の活動予定）・自己評価

- 2020年度は「食農体験プロジェクト」を開催し、これまで関わってきた年齢層から更に幅広く市民に向け事業を展開していきたい。
- スタジオから敷地続きの畑を使い、収穫体験と調理を組み合わせ「クッキング講座」を開催し、沼津市で栽培できる野菜の周知と、地産地消や「食」の大切さを伝えていきたい。
- 参加者が自宅に持ち帰り栽培できるキットを渡し、SNSを通じて野菜栽培の疑問質問に答えながら、参加者同士が栽培している野菜の成長具合を報告し合い、SNS上で交流できる「自宅でできる食農体験」を開催する。
- スタジオを移設し、「あかちゃんの駅」を新設したことにより、ワークショップ開催のために会場予約の必要がなくなり会場費用もかからなくなったため、昨年度に比べ非常に開催がしやすくなった。
- アットホームなスタジオで事業開催をすることで、利用者はリラックスして参加することができ、また安心して親子で参加していただくことができた。
- 子育て中の保護者が魅力を感じる内容で事業を開催することで、毎回HPからの集客ができ、新規の参加者やリピータの利用者も増えた。
- 託児つきの事業はニーズが高く、忙しい子育ての中で、子どもと離れ保護者が学ぶ時間やリフレッシュできる時間を提供する必要性を感じた。
- ワークショップのアシスタントや、3年間託児に従事してきたスタッフも事業に慣れ、講師とともに子育て中の保護者に対し、適切なアドバイスや支援を継続的にすることができた。
- 2019年度ニーズの高かった「産後ケア事業」が市の委託事業となり委託契約をすることができた。

